

安藤裕先生 の 略歴 (あんどう ゆたか)

独立行政法人放射線医学総合研究所 重粒子医科学センター病院 病院長

1976年(昭和51年)慶應義塾大学医学部卒業。

慶應義塾大学病院 訓練医(放射線科)、医学部助手、専任講師、助教授を経て、
2004年5月放射線医学総合研究所 重粒子医科学センター 医療情報室 室長。

2010年5月より現職。

主な研究テーマは、医療情報システム、PACS、画像処理。
情報システムのセキュリティ管理(ISMS)、病歴データベースなど。

医学放射線学会と医療情報学会の両方で、要職に就かれております。

2009年より日本 IHE 協会 代表理事

熊本一朗先生 の 略歴

鹿児島大附属病院 病院長 兼 鹿児島大学 副学長

1980年 鹿児島大学医学部卒業 同第三内科(井形昭弘教授)入局

1984年 鹿児島大学総合病院情報システム THINK の開発に参画
病院医療情報室兼務

1993年 鹿児島大学附属病院医療情報部 教授(医療情報部長)

1976年 鹿児島大学医学部医療情報管理学講座 教授

2001年 鹿児島大学附属病院 副病院長
鹿児島大学 学長補佐

2003年 大学院医歯学総合研究科 医療システム情報学教授

2011年 鹿児島大附属病院 病院長 (現在、2014.4より2期目)
鹿児島大学 副学長

<主な学会・社会活動>

全国医学部長・病院長会議 理事

厚生労働省・中央社会保険医療協議会・診療報酬調査専門組織
DPC評価分科会委員、医療技術評価分科会委員

国立大学協会・経営支援委員会 専門委員 (2006年～2008年)

文部省・21世紀医学・医療懇談会 教育病院部会・委員(1996年～2000年)

厚生省・在宅医療の推進に関する検討会議・委員（1996年～1997年）

文部省・国立大学附属病院運営改善に関する調査研究協力者会議・委員（1993年～1994年）

日本医療情報学会（学会誌編集委員長 2007年まで）

日本薬剤疫学会

日本医療マネジメント学会

日本神経学会（日本神経学会専門医）

日本内科学会（日本内科学会認定医）

Andreas Gehrman の略歴

シンガポールにある SRMS & Associates Pte. 社のコンサルタント・Managing Director

学歴

1989年：物理学修士（ベルリン工科大学物理学ディプロマ）

第二専攻（学士）として情報処理

2004年～2012年：青山学院大学理工学部経営システム工学科において、
システムデザイン・要求事項モデリングの分野を研究。

情報システムモデリングに関する国際ワークショップでのスピーカーを行った。

職歴：（2000年以降）

1991年～2012年（韓国 → 日本）

認証機関（TUV）において

韓国 TUV 副社長として主に ISO9001 の主任審査員として業務を行う。

日本においては、情報セキュリティの監査および認証責任者として、

13年以上の実績を持ち、コンサルティングと教育研究と規格の理解に関する、深く広範囲の経験を持つ。

欧州と日本の要求事項に基づく PII（個人特定情報）保護の分野の監査業務も立ち上げた。

- ゲルマン氏は、現在はシンガポール情報通信開発庁の元で、シンガポールクラウド認証スキーム クラウドセキュリティの審査員の活動を行っている。
- 現在も、情報セキュリティに関する主任審査員として引き続き活動を続ける一方、SRMS 社に所属して、ISO 31000 and ISO 27799 等の多様なマネジメント規格に基づいた、リスクマネジメントツールの開発中。

森口修逸の略歴

2002 年以降、㈱エム・ピー・オーを設立し、代表取締役 です。

- 1963 年 滋賀大学経済学部卒
- 1963 年～ 日立製作所中部支店に入社、トヨタ担当の重電営業
- 1967 年頃～ 日立中部システム部で保健医療情報システムの営業支援・開発
 - 名古屋市立病院・愛知県立4病院、岡崎市医師会・愛知健康増進財団等
 - スズケン の病院向けVAN (TMS－NET)
 - トヨタ記念病院の臨床検査自動ラインシステム(日本初のリアルタイム報告)
- 1988～89 年 日立本社で戦略情報システム(SIS)手法開発(医薬品卸担当)
- 1989～93 年 インフォネクス㈱でネットワーク SI の企画・開発・サポート
 - エーザイの戦略情報システム用ネットワーク基盤構築 等
- 1994 年～ リコーで IS&C による医用画像とセキュリティに関する企画・開発
 - 医療情報ベンダ・医療機器ベンダ等への営業と IS&C システム機器の企画
 - 北九州マルチメディア職域・地域健康管理実証実験(IPA・MEDIS)
 - JAHIS にて電子カルテセキュリティ委員会に参加、可用性に関する主査
- 2002 年～ ㈱エム・ピー・オー設立、代表取締役
 - 保健医療機関 P マーク・ISMS 等のコンサルテーション実績多数
 - 講演会講師の実績多数 岐阜大学病院・日本郵政病院事務長向け等
 - 出版:「医療・介護」や「産業保健」等の個人情報保護に関する著書の他に、
「医療情報セキュリティマネジメント(ISMS)」(日本医療企画)、
「保健医療分野向け個人情報保護マネジメントシステム DVD」(アクシス)
- 参画団体等:
 - (一社)PHR 協会理事、日本医療情報学会員、日本産業衛生学会員、
- 資格:ISMS 主任審査員、特種情報処理技術者

高取敏夫様の略歴

一般財団法人日本情報経済社会推進協会 情報マネジメント推進センター センター長です。
通称を、JIPDECと称します。

1970 年 3 月 武蔵工業大学 工学部 経営工学科 卒業

同年 財団法人日本情報処理開発協会 開発本部システムエンジニアとして入社

産業情報化の推進に関する調査研究に従事、EC(電子商取引)/CALIS の推進等に従事
2000年4月 情報セキュリティ部に在籍し、情報セキュリティ・不正アクセス検査ツール実証・ISMS パイロット事業等に従事
2002年4月～情報マネジメント推進センターにて ISMS/ITSMS/BCMS 適合性評価制度を創設し、認定業務等に従事
2009年4月 SAM/ITAM(ソフトウェア/IT 資産管理)に関する調査研究、
～ 制御システムセキュリティ認証基盤整備事業の実証業務等に従事
2014年4月 (情報マネジメント推進センター センター長に在籍し、) 現在にいたる。

この間、[主な委員会活動等]

2002年4月 「(ISO/IEC JTC1/SC27 WG1)小委員会」委員
2003年3月 「(JIS Q19011 マネジメントシステム監査のための指針)委員会」委員
2004年4月 「(適合性評価制度専門)委員会」委員
2006年10月 「(適合性評価制度に関連する ISO/IEC 17021、17022 対応 WG)委員会」委員
2011年8月 「ISO/IEC 20000-1 及び-2(IT サービスマネジメント) JIS 化原案作成)委員会」委員
2012年2月 「(ISO/IEC JTC1/SC27 専門)委員会」委員
2013年3月 「(情報セキュリティマネジメントシステム JIS 原案作成)委員会」委員
2014年4月 「(ISO/TC223/SG1(社会セキュリティ) ISO/CASCO JWG40 対応 WG)委員会」委員 その他多数

[主な著書]

『(ISO/IEC20000 活用ガイドと実践事例)』

『(対訳 ISO19011:2011 マネジメントシステム監査のための指針(ポケット版))』

鈴木淳夫様の略歴

現在は、千葉大学で工学系の学生向けに医療情報の、非常勤講師。

【学歴】

1975年3月 新潟大学工学部電子工学科 卒業

【職歴】

1975年4月 富士通株式会社 入社

同 8月 同社 医療システム営業部 配属

以来、同社にて一貫して医療情報システムに関わるビジネスを担当

2013年6月 富士通株式会社 退職

【主な担当業務概要】

1975年～1990年 大学病院システム及び臨床検査システム、その他全国病院商談支援

1991年～1998年 幹部社員(プロジェクト課長)として大学病院商談、大規模病院商談、
他社アライアンス、個別プロジェクト推進を担当。主な個別案件は下記。

- ① **MUMPS 言語使用ユーザー**に対して住友電工との共同提案を推進。
- ② IC カードによる住民健康管理システム実施(通産省予算)
- ③ 日米遠隔医療プロジェクト、九大病院・産業医大と米・クリーブランドクリニック、間で遠隔医療実験を実施(郵政省予算)
- ④ オープン環境による富士通初の画像パッケージ HOPE/DrABLE の立上げと全国拡販。
- ⑤ 超音波診断装置についてフクダ電子及び島津製作所との OEM 供給契約締結及び拡販

1998年 ～2000年 2000 年施行の介護保険法に対応した介護施設向けパッケージ
パートナー(代理店)向け医事会計システムと電子カルテの全国拡販担当部長

2001年～2003年 GE との医用画像分野におけるアライアンス締結と共同プロモーション

2004年～2006年 共同利用型高度医療施設の建設を目指して設立活動を担当。

同上構想実現に向けて IHI、日揮など共に企画会社(株)東京ベイ・メディカルフロンティア
を設立し、取締役(非常勤)に就任(～2011 年)。

医療機関との電子カルテ情報の共有と治療後の患者長期フォローのための医療データバ
ンクのあり方を検討。経済環境の変化などもあり、設置を断念。

【社外団体における活動】

(一社)日本医療情報学会(JAMI)

2000 年～2003 年 5 月 幹事、執行委員(理事)、社員(幹事)

2013 年4月～ 上級医療情報技師育成指導者(現在も)

(一社)保健医療福祉情報システム工業会(JAHIS) 2001 年～2008 年 10 月 企画委員会委員長

【社外講師等】

・医療情報システムに関する非常勤講師

千葉大学大学院工学研究科(現在も)・岡山大学医学部看護学科、北海道情報大学等

・一般社団法人電子情報技術産業協会(JEITA)が大学生・大学院生向け JEITA 講座「電子カル
テが拓く未来の医療」講師を 2008 年4月～2013 年 6 月まで担当

(実施大学:立命館大学、横浜国立大学、東京農工大学、電気通信大学、岐阜大学)

以上